

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学  
経営協議会（平成23年度第1回）議事要旨

1. 日 時 平成23年6月24日（金）14：00～16：04
2. 場 所 奈良先端科学技術大学院大学 事務局3階 会議室
3. 出席者 磯貝議長  
村井、新名、澤田、畚野、片岡、北出の各学内委員  
井上、小出、佐々木、志村、宮寫、CASSIMの各学外委員  
欠席者 松本学内委員  
石井、矢嶋の各学外委員  
出席監事 二宮監事  
陪席者 堀江教育研究支援部長  
奥田、吉田、桐山、大場、林田、成相、向井の各課長
4. 配付資料  
資料1 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学経営協議会（平成22年度第4回）議事要旨（案）  
資料2-1 平成22事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）の概要について  
資料2-2 平成22事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）  
資料2-3 平成22年度年度計画の実施状況について  
資料3-1 平成22事業年度財務諸表  
資料3-2 平成22事業年度奈良先端科学技術大学院大学の決算について①  
資料4 平成24年度概算要求の概要  
資料5 職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する規程等の一部改正について  
資料6 外部資金を獲得した教員に係る報奨制度の創設について（案）  
資料7 学長選考会議委員の選出について  
資料8 平成23年度国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学運営体制  
資料9 本学の主な動きについて（平成23年3月25日（金）～平成23年6月23日（木））  
資料10 東日本大震災における本学の対応について  
資料11-1 中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果について  
資料11-2 第1期中期目標期間の業務実績に関する評価結果のポイント  
資料11-3 第1期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果（国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学）  
資料11-4 学部・研究科等の教育に関する現況分析結果（奈良先端科学技術大学院大学）  
資料11-5 学部・研究科等の研究に関する現況分析結果（奈良先端科学技術大学院大学）  
資料11-6 第1期中期目標期間の業務の実績に関する評価結果に係る記事  
資料11-7 国立大学法人評価委員会が公表した資料等について  
資料12 国立大学法人における会計監査人の選任について（通知）  
資料13 平成23年度外部資金の受入れについて（平成23年6月20日現在）

資料14	平成23年度科学研究費補助金（新規採択分）の交付内定状況について （平成23年6月3日現在）
資料15-1	奈良先端科学技術大学院大学創立20周年記念事業一覧
資料15-2	創立20周年記念式典実施要領
参考資料	奈良先端大の概要と特色
参考資料	国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学平成23年度経営協議会委員一覧

議事に先立ち、委員等の自己紹介が行われた。

## 5. 議 事

（前回議事要旨の確認）

資料1の前回（平成22年度第4回）の議事要旨（案）について、原案どおり承認された。

（審議事項）

### （1）平成22事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

村井委員から、資料2-1～3に基づき、平成22事業年度に係る業務の実績に関する報告書について説明が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。なお、今後の加除・修正等については学長に一任することとし、役員会への附議を経て、資料2-2については、6月末に文部科学省国立大学法人評価委員会へ提出することが確認された。

### （2）平成22年度決算について

澤田委員から、資料3-1～2に基づき、平成22年度決算について説明が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。なお、今後は、役員会への附議を経て、6月末までに文部科学省へ提出することが確認された。

### （3）平成24年度概算要求事項について

澤田委員から、資料4に基づき、平成24年度概算要求事項について説明が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。なお、今後の加除・修正等については学長に一任することとし、役員会への附議を経て、平成23年7月6日までに文部科学省へ提出することが確認された。

### （4）職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する規程等の一部改正について

澤田委員から、資料5に基づき、職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する規程等の一部改正について説明が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。なお、今後は、役員会への附議を経て、関係規程等の一部改正を行うことが確認された。

### （5）外部資金を獲得した教員に係る報奨制度の創設について

澤田委員から、資料6に基づき、外部資金を獲得した教員に係る報奨制度の創設について説明が行われ、審議の結果、引き続き、報奨制度の創設に向けて検討していくことが確認された。

（主な意見は、次のとおり）

- ・新しく報奨制度を創設する際に様々なリスクを考慮しておく必要はあるが、教育研究活動を活性化する1つの方策として、まずはチャレンジすることが重要である。
- ・報奨制度の財源については、十分に考慮すべきである。
- ・新しい報奨制度が、既存の教員評価とのバランスの中で、何に対してインセンティブを与えるものかを整理しておく必要がある。
- ・組織全体を活性化するために、組織に対して何らかの貢献をした人を奨励することは重要である。

(6) 学長選考会議委員の選出について

議長から、資料7に基づき、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学学長選考会議規程第3条第1項第1号の学長選考会議委員の選出について説明が行われ、審議の結果、井上、佐々木、志村、CASSIM及び矢嶋の委員5人が選出された。

(報告事項)

(1) 平成23年度運営体制について

議長から、資料8に基づき、平成23年度運営体制について、報告が行われた。

(2) 本学の主な動きについて(平成23年3月25日～平成23年6月23日)

議長から、資料9に基づき、平成23年3月25日から平成23年6月23日に行われた本学の活動状況等について、報告が行われた。

(3) 東日本大震災における本学の対応について

議長から、資料10に基づき、平成23年3月11日に発生した東日本大震災における本学の対応について、報告が行われた。

(4) 中期目標期間に係る業務の実績に関する評価の結果について

村井委員から、資料11-1～7に基づき、国立大学法人評価委員会による本学の中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果について、報告が行われた。

(5) 会計監査人の選任について

澤田委員から、資料12に基づき、本学の会計監査人として有限責任あずさ監査法人が選任された旨の報告が行われた。

(6) 平成23年度外部資金の受入れ状況について

新名委員から、資料13に基づき、平成23年度外部資金の受入れ状況について、報告が行われた。

(7) 平成23年度科学研究費補助金の交付内定状況について

新名理事から、資料14に基づき、平成23年度科学研究費補助金の交付内定状況について、報告が行われた。

(8) 議長代行理事の指名について

議長から、本会議の議長代行理事を村井理事に指名した旨の報告が行われた。

(その他)

(1) 創立20周年記念事業について

新名委員から、資料15-1～2に基づき、創立20周年記念事業と平成23年10月1日開催の創立20周年記念式典の概要について説明が行われた。

(主な意見は、次のとおり)

- ・近年の社会情勢の中で、人材を養成する機関としての大学の使命が注目されている。社会を取り巻く様々な問題や課題に対して、日本の科学技術力をそこに繋げていくために、また、日本の最先端の科学技術を世界に知らしめていくために、分かりやすく具体的な事業を奈良先端大で検討してはどうか。そのためには、まず、発信力。次に、発信していくための中身の充実。そして、組織の合理化や効率化。そのような本当に意味のある環境が、この日本のどの大学にも必要とされているのではないかと。
- ・今、日本全体に不足していることが3つある。科学技術の在り方、科学技術の制度と組織の在り方、科学技術の目標や目的。これらのことについて、この国は希薄になりすぎている。その中で、奈良先端大のプリンシプルを創出してはどうか。そして、それを世界に発信していけば、その中からユニークな人材も出てくるのではないかと。時間がかかることだが、これはとても重要である。
- ・「産学」ということを言う時に、民間企業は、「産のためになる産学連携」を主眼に置いているが、果たしてそれで良いのか。「学」がリードする産学ということで、「学産連携」ということも考えられるのではないかと。

以上